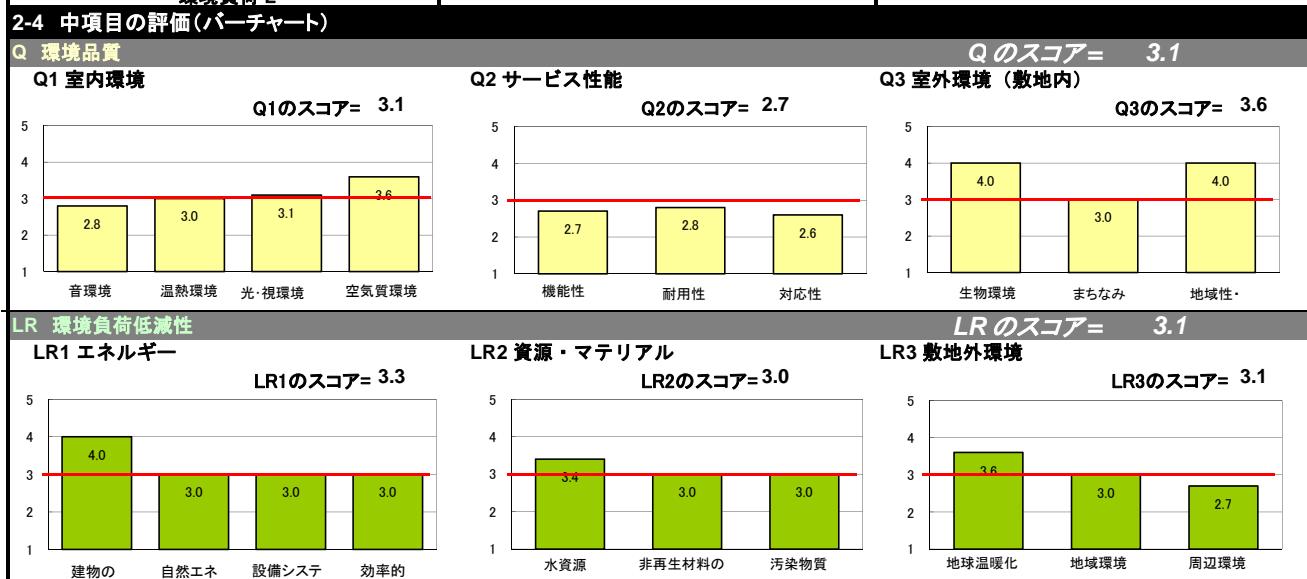
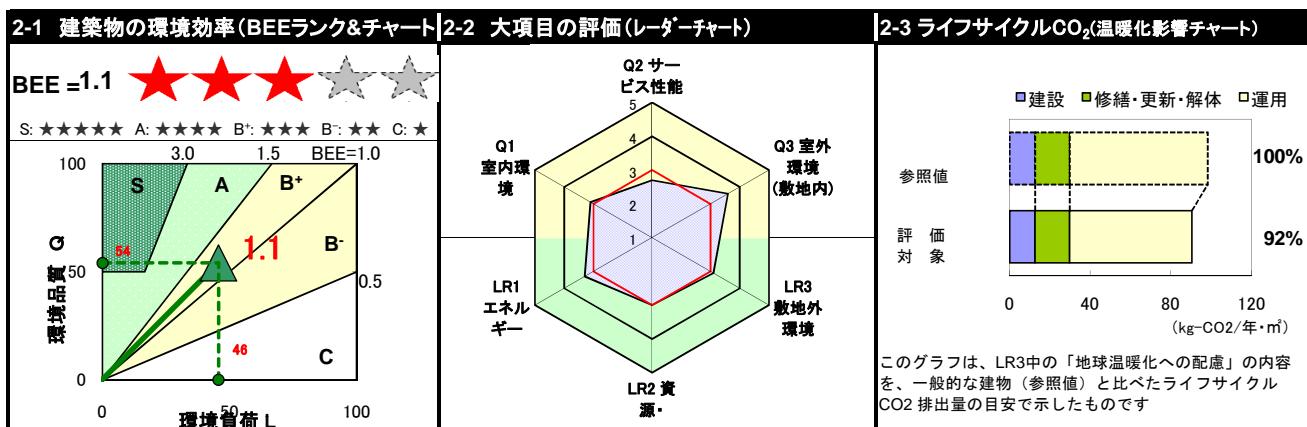


CASBEE™ 新築[簡易版]

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都産業大学理工系学部棟	階数	地上3F、地下1F
建設地	京都市	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、市街地	平均居住人員	591人
気候区分	V	年間使用時間	2,600時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年2月 予定	評価の実施日	2009年4月25日
敷地面積	259,078 m ²	作成者	江副 敏史
建築面積	1,966 m ²	確認日	
延床面積	6,635 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		その他	
総合		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 既存建物との調和		Q1 室内環境	
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 中庭からの自然通風と自然採光の確保と水平庇による日射遮蔽		Q2 サービス性能	
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 LED照明器具の採用、窓に網戸設置		Q3 室外環境(敷地内)	
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高耐久性外装材として外壁にれんが中空積みを採用		注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 十分なオーバンペースの確保と既存樹木の保存	
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。		注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	
注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。		注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 屋外広告物照明なし	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される